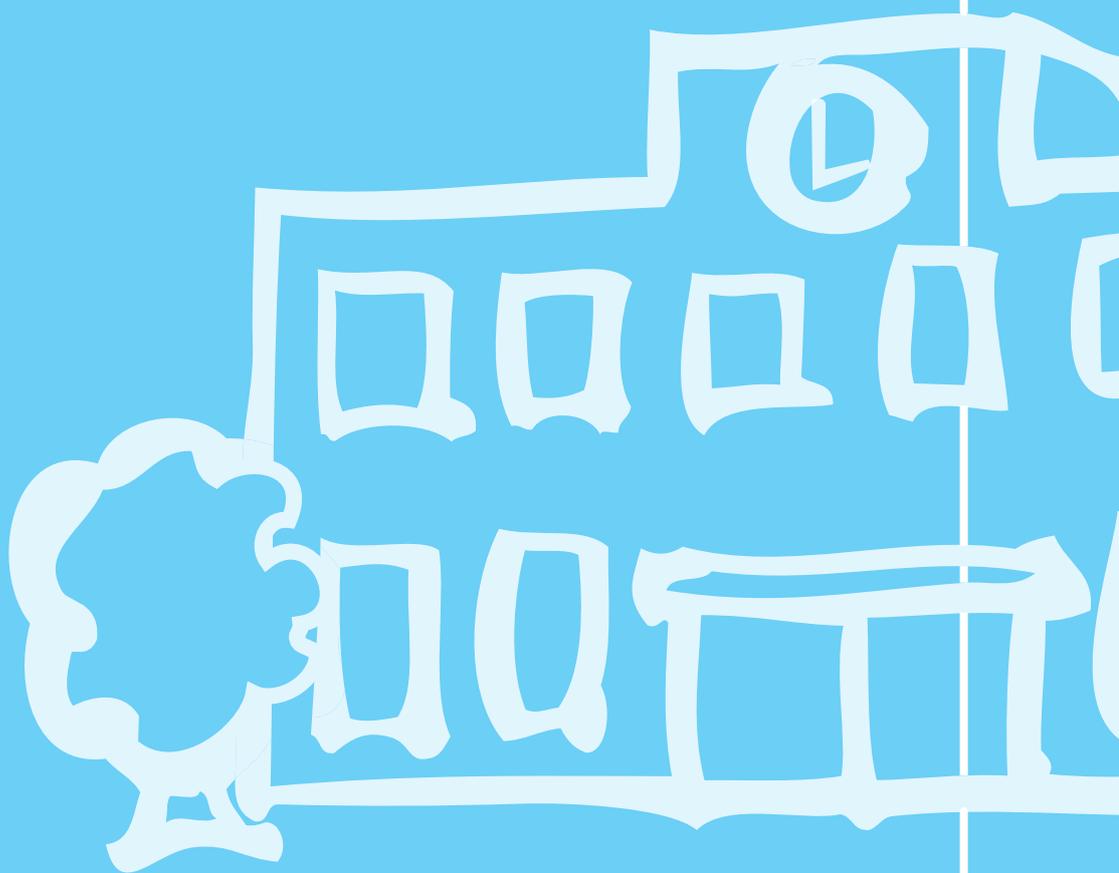


配慮（支援）が必要な子どもの高校進学について

アンケート

調査報告書



2022年3月 実施者：大塚 愛（岡山県議会議員）

調査報告にあたって

児童精神科のクリニックの院長先生から、「発達障がいのある子ども達が伸び伸びと学び、能力を発揮できるような高校が必要」と言われた言葉が、ずっと心に残っていました。その後も、配慮が必要なお子さんの保護者の方から、現在通っている学校で困っていることや、学校での対応があわず不登校になったこと、配慮が少ない高校への進学に不安を感じていることなど、さまざまな声を聞いてきました。

他県の公立高校では、「インクルーシブ教育コース」など包摂的な取り組みも行われていますが、岡山県ではそのようなコースの検討は進まず、広域通信制高校への進学者数は年々増えている現状があります。

県立高校で学びたい生徒が、障がい特性に関わらず安心して進学でき、学び続けられるためには、県立高校での理解を深め、合理的配慮を増やすことや、新たな包摂的なコースの検討が必要ではないかと考え、この度の調査を行うことにしました。

教育関係者の方には、この調査結果から配慮が必要な子ども達の学校生活の現状を知っていただき、高校、中学校、小学校それぞれにおける理解や配慮を進めていかれるための参考にしていただければ、大変有難いです。

また保護者の方には、ここに寄せられたご意見や事例を参考にしたり、県内で同じ思いや悩みをもつ方々と共感を得られる機会として、よりよい一歩に繋げていただければ幸いです。

大塚 愛

配慮（支援）が必要な子どもの高校進学についてのアンケート

■目的

発達障がいや特別支援教育のニーズのある子どもが、高校進学について悩んだり、希望したりしていることをお聞きし、高校や中学校に求められていることを理解し、今後の教育施策に活かしていくため

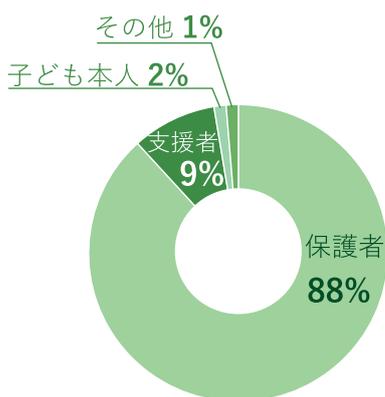
■調査方法

2022年2～3月に発達障がいや特別支援のニーズがある小中学生とその保護者、支援者を対象に、SNSを通じて呼びかけオンライン（Google フォーム）で実施。回答数 157 件。

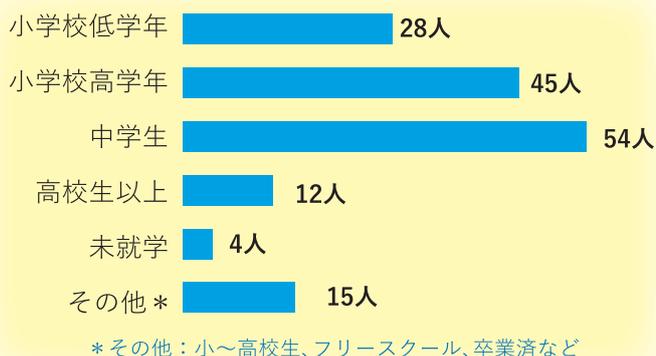


Web版の報告書はこのQRコードから見れます

1. 記入者



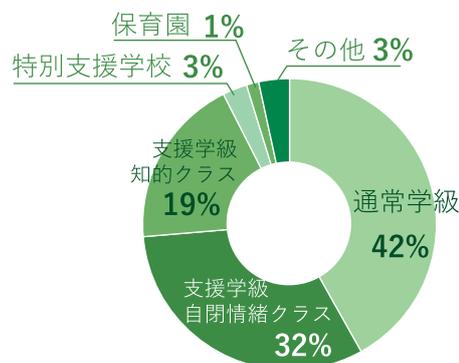
2. お子さんの学年



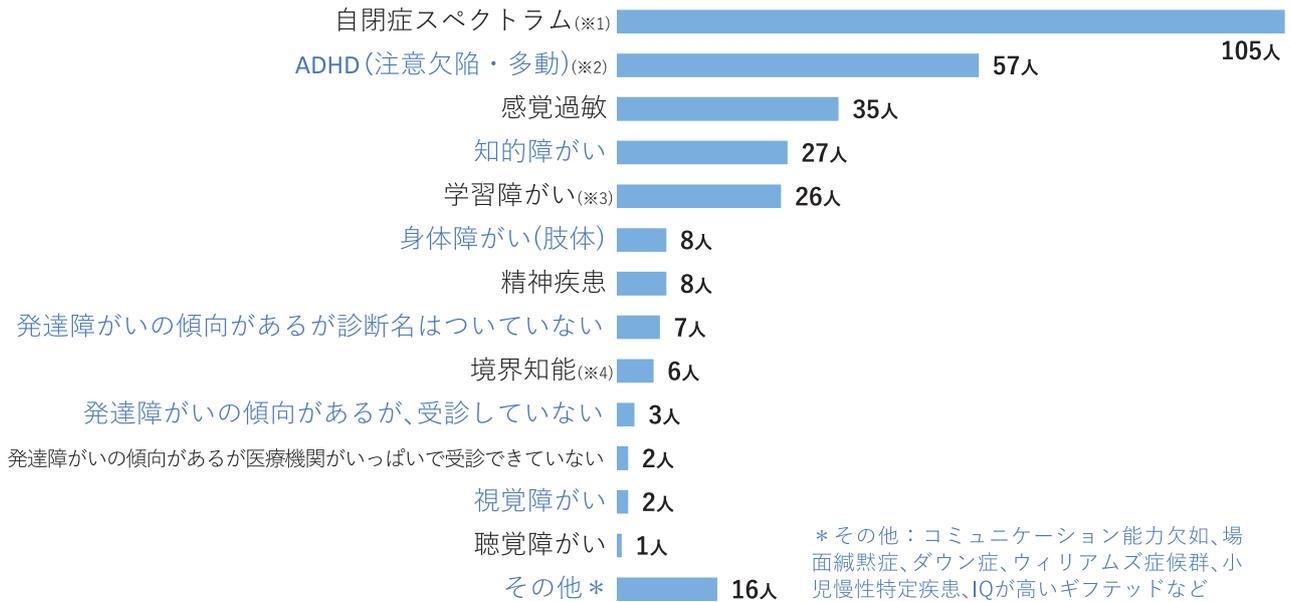
3. お住いの地域

市町村名	人	市町村名	人
岡山市	57	真庭市	3
井原市	19	矢掛町	3
赤磐市	17	吉備中央町	2
倉敷市	15	鏡野町	2
津山市	9	玉野市	2
笠岡市	7	新見市	2
総社市	5	奈義町	1
備前市	4	里庄町	1
浅口市	3	美咲町	1

4. 在籍クラス

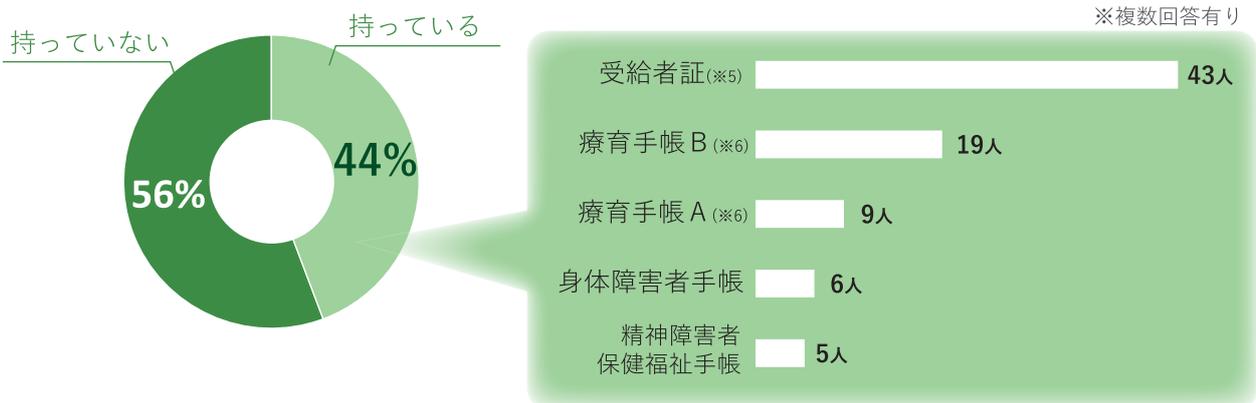


5. 障がいや特性



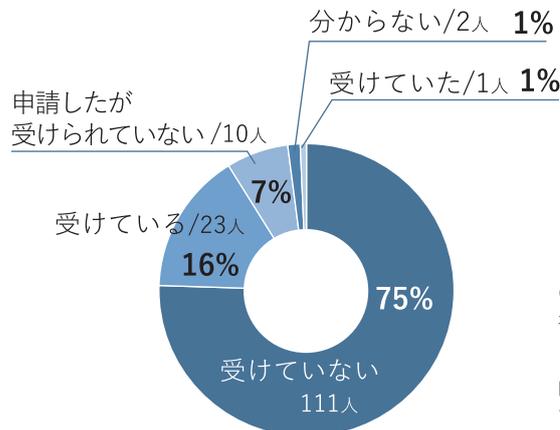
(※1)対人関係が苦手、こだわりが強いなどの特徴がある。発達障がいの1つ。(※2)不注意や多動性、衝動性がある。発達障がいの1つ。
 (※3)知的発達に遅れがないけれど、読み書きや計算など特定分野の学習が極端に苦手である。発達障がいの1つ。(※4)おおむねIQ70～84で何らかの支援が必要とされる。

6. 手帳の有無



(※5)障がい児(通所・入所)支援受給者証、療育手帳がなくても放課後等デイサービスなどが利用できる。(※6)知的障がいがあると判定された方に交付。Aは概ねIQ35以下で日常的な介助が必要な方、または50以下で盲・ろうあ・肢体不自由等を有する方。Bはそれ以外。

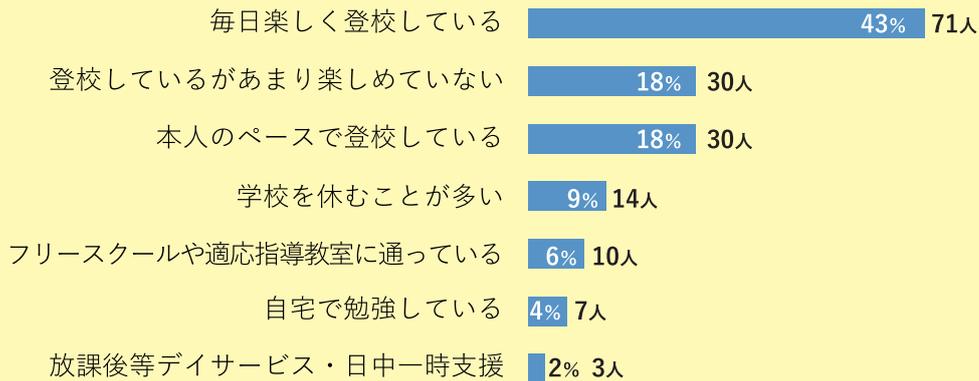
7. 特別児童扶養手当(※7)



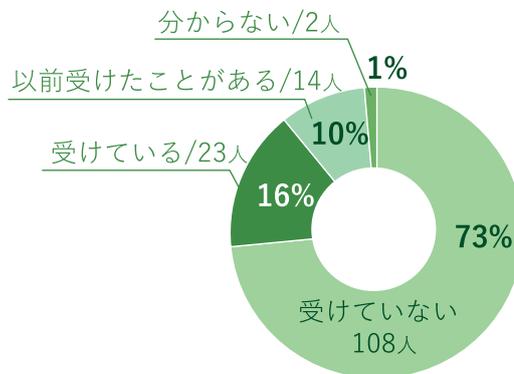
(※7)精神や身体に障がいのある児童(20歳未満)を育てている方に養育のためのお金を支給。1級(より重度)と2級があり、お住まいの市町村へ申請する。2級は療育手帳B程度と言われるが、自治体によって判断が違う。

8. 現在のお子さんの様子

※複数回答有り

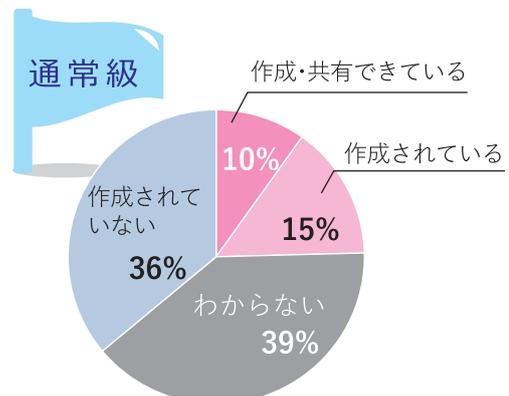
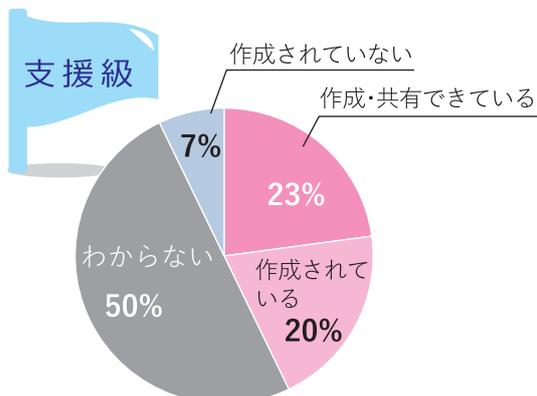
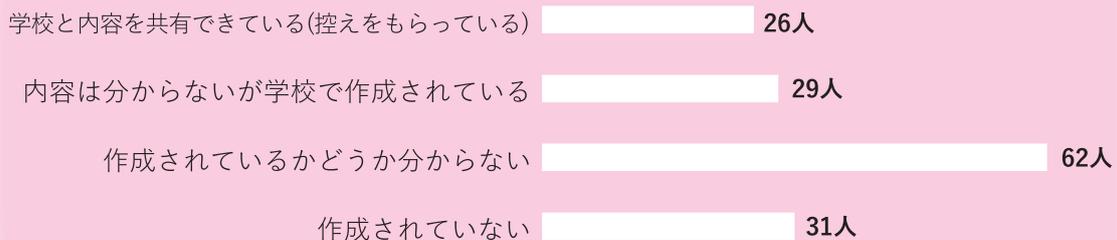


9. 通級指導 (*8) について



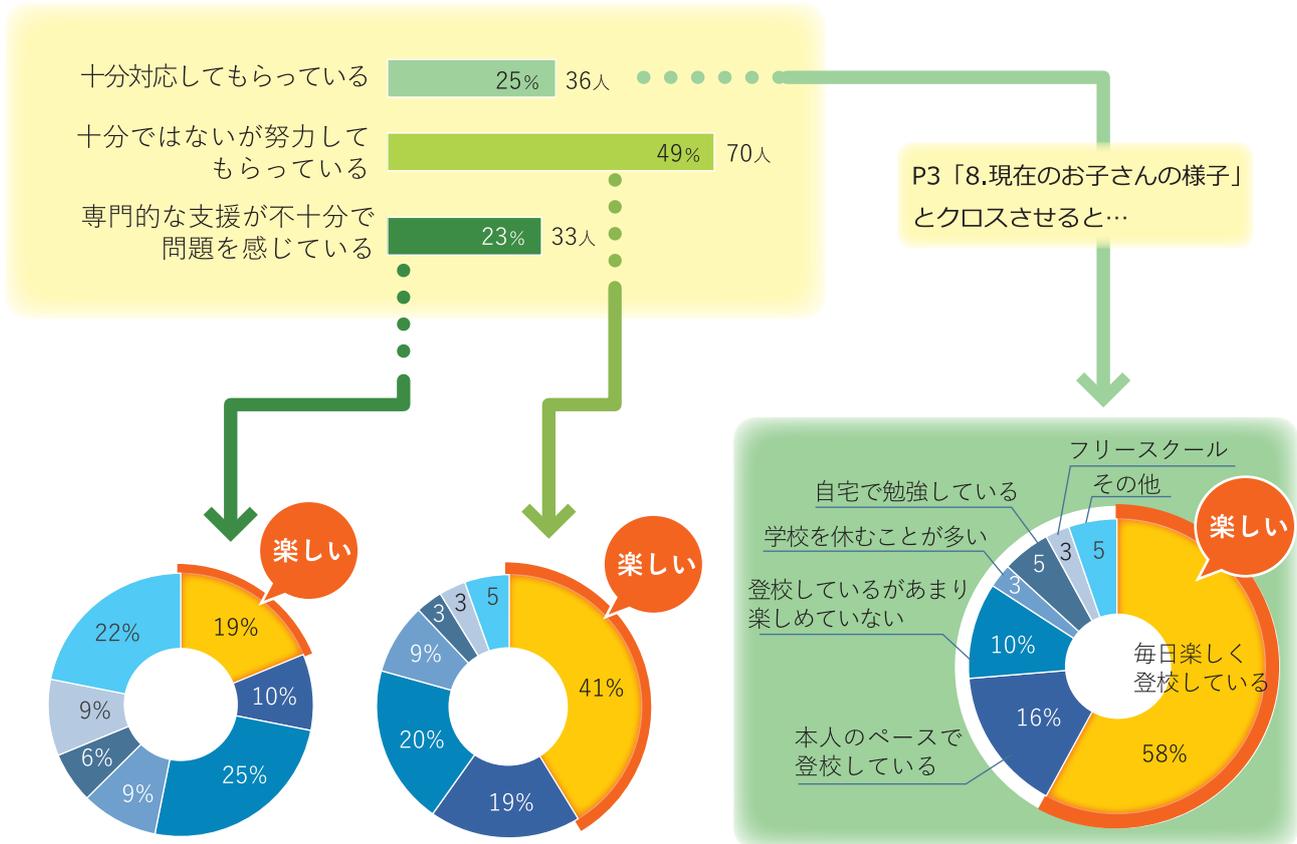
(※8)障がいの特性に応じた支援が必要な子どもが、通常のクラスとは別に(在籍校、または他校で)学習面や生活面の困りごとを克服できるよう個別指導を受けること。

10. 個別の教育支援計画 (*9) について



(※9)様々な障がいのある子どもの個々のニーズを把握し、適切な教育的支援の目標や内容、関連機関の役割を書き込んだもの。幼稚園から高等学校(高等部)までが主な対象。進学時に引き継ぐことで切れ目のない支援を可能にし、医療や福祉など関連機関とも連携して作成される。

11. 現在通っている学校での障がい特性への理解や支援



12. 現在の学校生活で、障がい特性に関連して困っていること

(P8. 別添 1 参照)

下記の内容について 96 件の回答がありました。

理解や要望への対応、コミュニケーション、特性からの困難さ、いじめや差別、学級の選択や交流、情報共有と連携、相談しづらさ、安心できない、進路、給食、施設、コロナ、送迎

13. これまでの学校生活で、障がい特性への理解や対応についてよかったことや改善されたこと

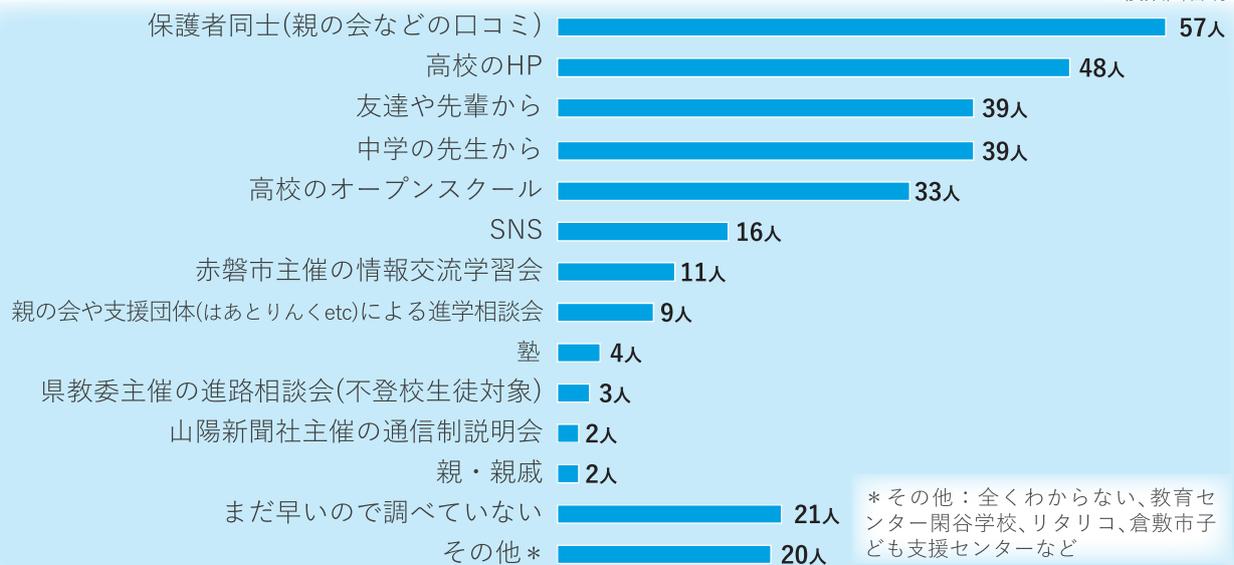
(P10. 別添 2 参照)

下記の内容について 86 件の回答がありました。

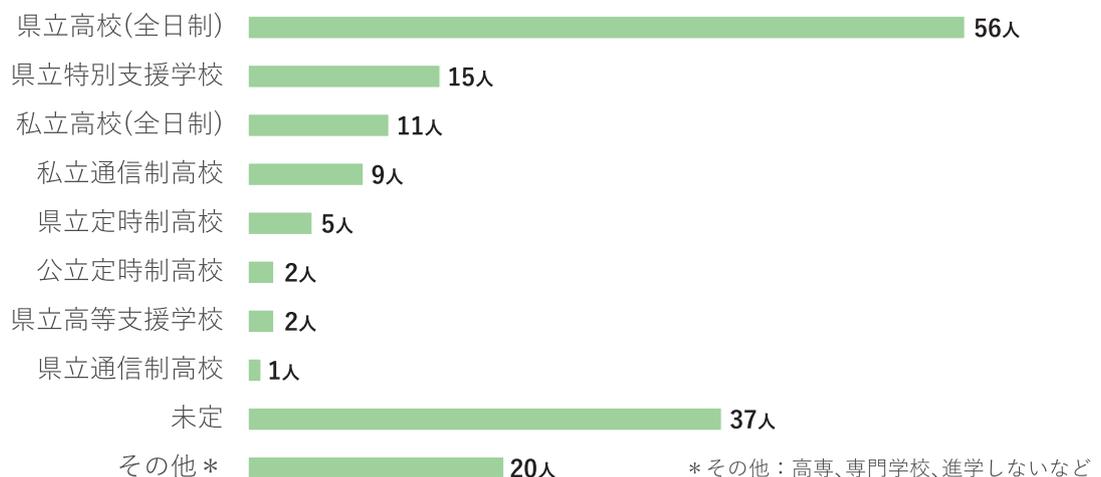
授業やテスト、運動会や行事、多職種連携や教員間のサポート、宿題、本人のペースにあわせる、逃げ場や空間、進級や進路、友だち、教員からの連絡、施設整備、給食、その他

14. 高校の情報の入手先

※複数回答有り



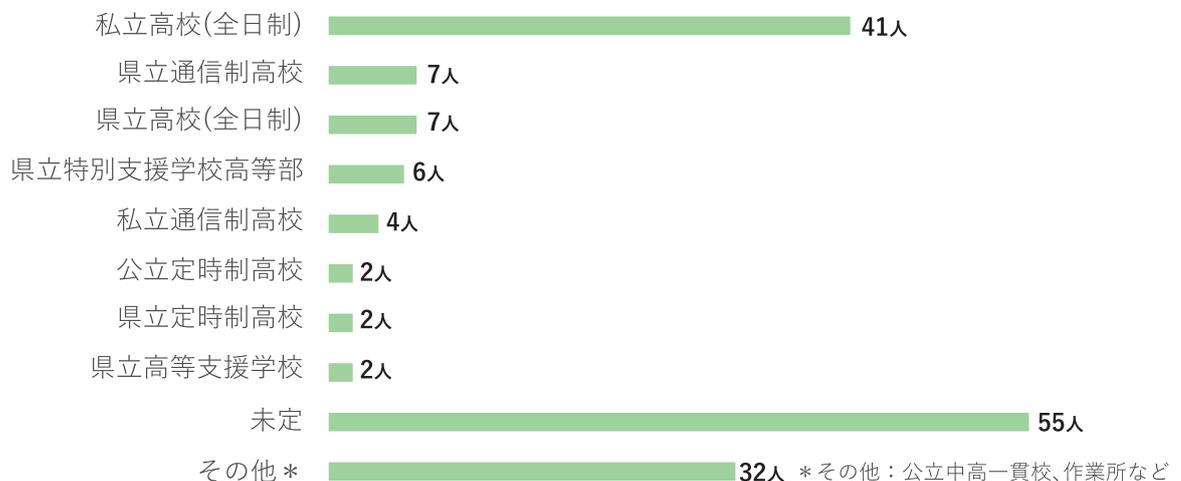
15. 第一候補に考えている高校



16. 第一候補の理由

(Web版 別添3参照)

17. 第二候補に考えている高校

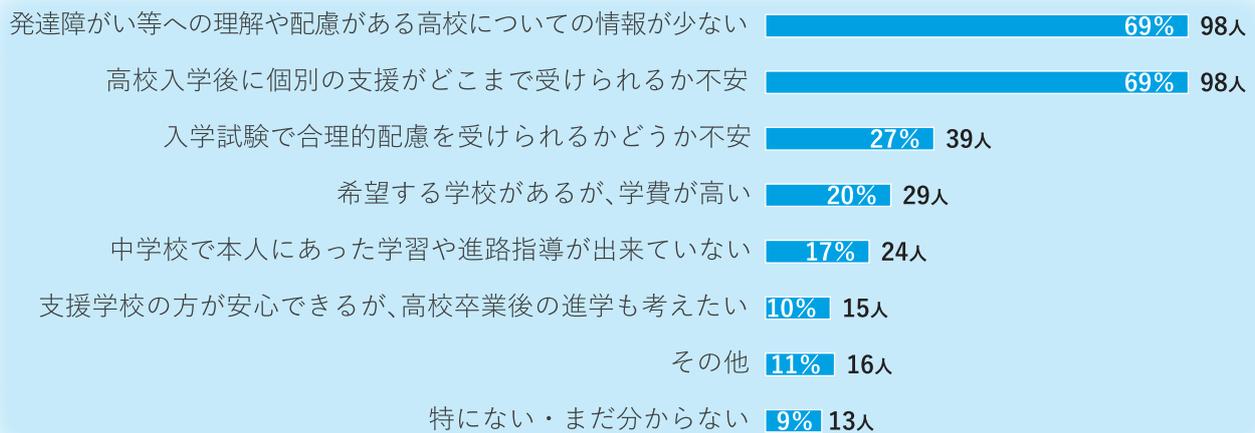


18. 第二候補の理由

(Web版 別添3参照)

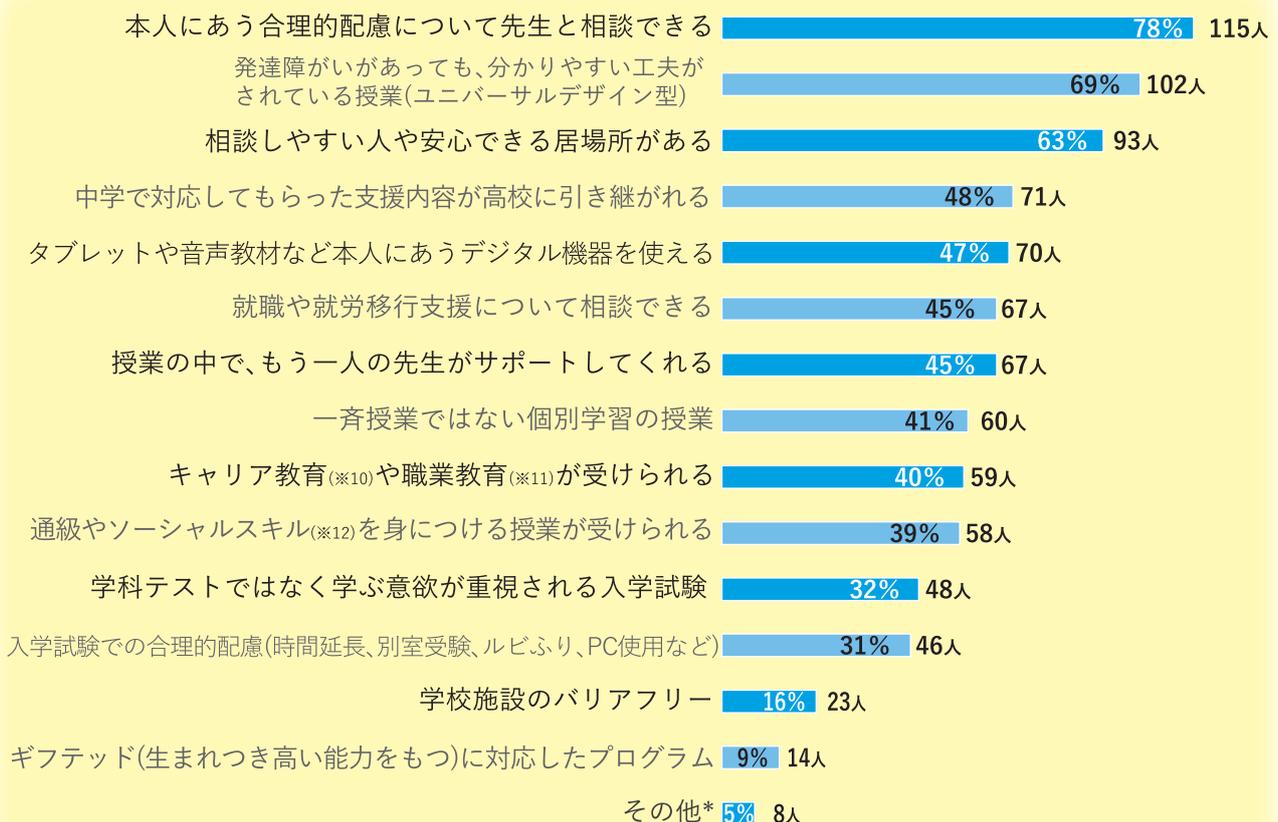
19. 高校進学で悩んでいること

※複数回答有り



20. 県立高校について希望していること

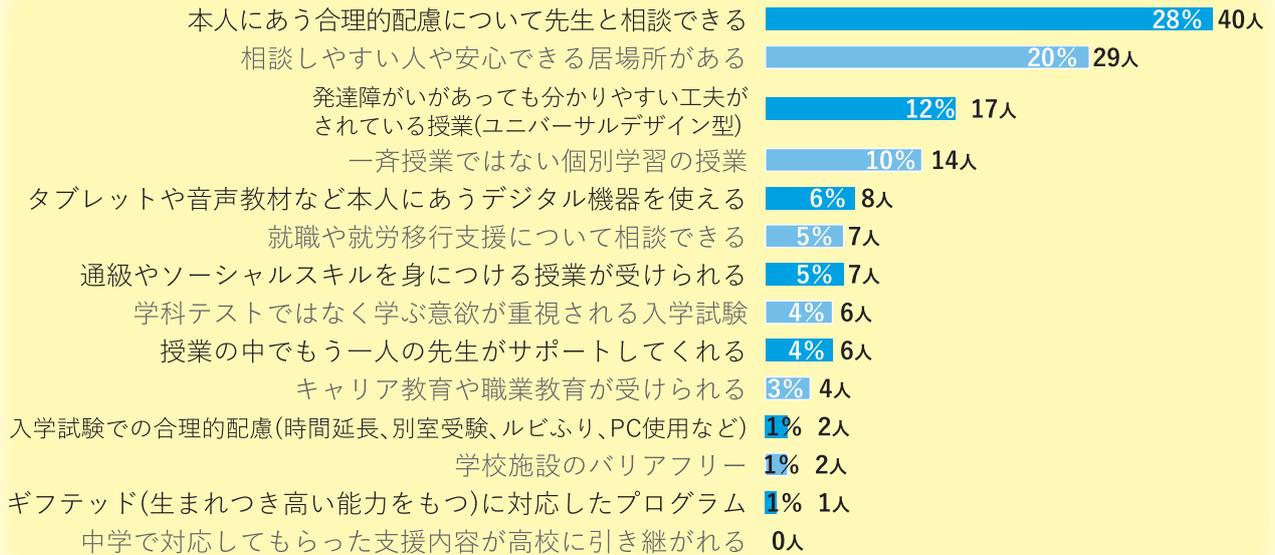
※複数回答有り



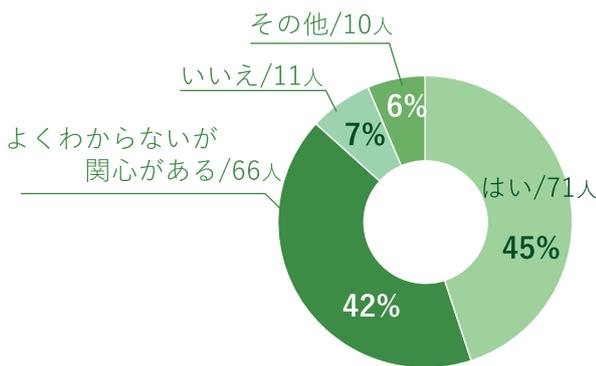
* その他：(定員内不合格を出さない、発達障がいへの専門的知識のある方の配置、単位取得に関する合理的配慮、送迎、障がいのある子も当然一緒に過ごせることなど)

(※10)社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる能力や態度を育てる。(※11)具体的な職業につくための知識や技能の習得を目指す教育。(※12)社会の中で他者と関係を築いたり、一緒に生活するために必要な技能(コミュニケーションやそのための認知)。発達障がいがあることで、気持ちの切り替えや「空気を読む」ことが苦手なこともあるため、ソーシャルスキルトレーニングを通じて行動や関わり方を学ぶことができる。

21. 20の質問で選んだ項目のうち最も望む内容

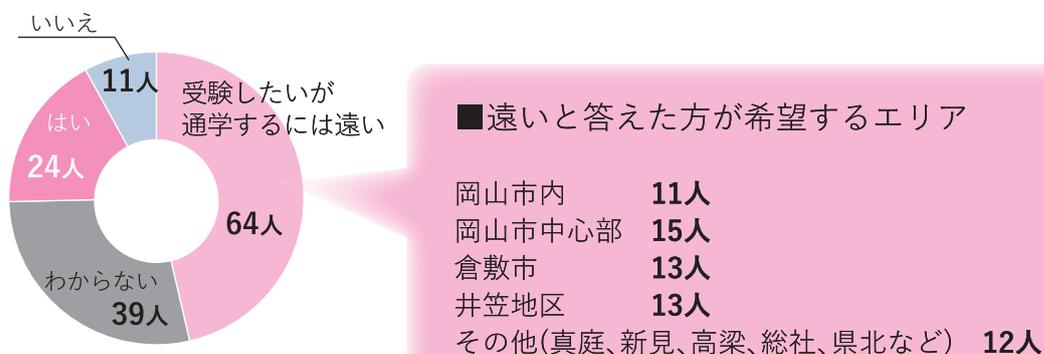


22. 岡山県の高校にインクルーシブコースがあれば受験したい



神奈川や大阪や佐賀では、知的障がいや発達障がいのある生徒が高校でともに学べる「インクルーシブ教育コース」(<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/j7d/content/f533456/index.html>)や「自立支援コース」(<https://www.pref.osaka.lg.jp/attach/4247/00035674/leaflet.pdf>)があります。岡山県の高校でもこのようなコースがあれば、受験したい(または受験を勧めたい)ですか？

23. 上記のようなコースがある高校が、もし岡山市の北部にあったら受験したいですか？



12. 現在の学校生活で、障がい特性に関連して困っていること

※回答者の原文を表記

理解や要望への対応

話せるので言葉で言えば伝わっていると思われる。視覚的支援が有効ですと伝えてもなかなか視覚的支援をして貰えない。

(赤磐・小1・自閉情緒)

聴覚過敏や視覚過敏があり、学校で完全に1人になれる空間が欲しいと本人が小1の時から言っているのですが、安全面の心配もあり、完全に1人になるのは難しいと言われています。

(岡山・小4・自閉情緒)

診断書の提出を申し出た際、教頭先生に提出してもしなくてもどちらでも良いと言われ、配慮するつもりがないのだと、その後の相談を諦めました。

(赤磐・中2・通常)

個々の特性に応じたきめ細やかな対応がなされていない。先生方も一杯いっぱいな印象で、支援教育の経験もマンパワーも足りない。

(岡山・中1・自閉情緒)

グレーゾーンの子や不登校気味の子への対応が不十分です。通級も入りたいけど入れない子や、診断がないと入れないなど、その子に合った指導が受けられていない。

(真庭・小5・通常)

特別な援助が必要なら支援級へ、と言われる。本人が通常級を望むというケースがあまりないのか、子供の意思が軽視されているように感じることがある。また、板書があまり得意ではないが、タブレット使用やワード文書の作成、板書の撮影などは許してもらえない。

(岡山・小5・通常)

知的障害があるというデータだけで、本人を一目も見ていない校長先生から「中学校では後退することも考えておいてください」と言われて目の前が真っ暗になりました。

(笠岡・中3・知的)

先生が場面緘黙症^(※13)の知識がないと感じる。

(岡山・中2・通常)

何を言っても担任の先生は全てダメしか言いません。自己肯定感も気力も下がりっぱなしにされています。

(岡山・小4・知的)

学校に学習困難について相談した際、担任の指導方針によってICT^(※14)の利用できる範囲が違うと言われたが、おかしい。そこは子供に合わせた使用方法を検討するべき。

(倉敷・小2・通常)

ディスグラフィア^(※15)傾向があるが、代理の担任の先生に「読めるのに書けない」という事が理解されず、全ての文字を直され続けた結果、書けていた文字もひと文字も書けなくなり、抜毛症になったことがある。

(岡山・小5・通常)

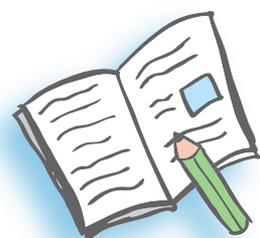
進路

特性を伝えずに高校に進学するので、もし何かあったときに親の知らないうちに大きな問題にならないかは心配しています。入学してからどのタイミングで伝えるべきか、悩んでいます。

(備前・中3・通常)

保護者が、どこの高校へ行けば適切な支援が受けられるのかわからないで困っている。中学校の少人数の支援級から大人数の高校の生活に慣れることができるのか、不安。うまく馴染めるような練習や支援が必要だと思う。

(赤磐・支援者・自閉情緒)



コミュニケーション

自分の思いを言葉でうまく表現できない
(井原・小6)

友達との関係で、本人の勘違いや受け取り方の違いによるトラブルがある
(岡山・中1・自閉情緒)

障がいをもっている子ども同士のクラスなので、人間関係が難しいと感じているようだ
(矢掛・中2・自閉情緒)

特性からの困難さ

給食エプロン使用 (倉敷・中3・通常)

プリント、書類等の管理ができない。常に探しものをしている。
(備前・中3・通常)

いじめや差別

先生の偏見を子供たちに露骨に表現されること
(笠岡・小6・通常)

子どものいじめを止めるのは大人でも難しいと感じます。うちの子は大人がいない時に服を汚されたり臭いと言われたりしました。毎日男の子達にしねと言われて「生きていたいけど死にたい」と言っていました。
(岡山・小2・通常)

相談しにくい

一度中学に来ているSC(スクールカウンセラー)さんに相談をしようと会ったのですが、一方的お話する方で相談にならなかったです。
(岡山・中2・通常)

送迎

歩いて下校はできないので、必ず保護者や放課後等デイサービスの迎えが必要であること。
(赤磐・小2・知的)

学級を選択や交流

特別支援学級の子がふえて、先生も教室も足りないとからと、できれば完全に通常学級に転籍するように薦められる。以前はもっと、本人の状態にあわせて、臨機応変に通常学級と支援学級での学びに対応策してくれていました。
(岡山・小4・自閉情緒)

スクールカウンセラー(SC)に通常級の先生は特別支援が出来るわけでは無いと言われた。しかし、それなら困り感がある子供を全員希望通りに支援級や通級に入れるようにして欲しい。
(倉敷・小2・通常)

普通学校と一緒に遊び、学べる機会がないので、障害特性を含め、子どもに分断が生じている。
(岡山・支援学校)

情報共有と連携

学校での教育支援計画を作成しているのかわかりません。しているはずなのですが、そういった面談もありませんので、どのように支援計画をしてくださっているのかわかりません。
(津山・小6・知的)

安心できない

休み時間が短く次の授業の準備をするだけで時間切れ。学校で心を休める時間が無いのが辛い様子。集団行動の強要が多く、1人でぼっとするのが難しい様子。
(総社・小1・通常)

学校が居場所にならない事、別の選択肢がない事
(井原・小2・自閉情緒)

学校施設

車椅子であったが、校舎が移動出来ないところもあり、受けられない授業や学校行事もあった。
(岡山・卒業済・通常)

13. これまでの学校生活で、障がい特性への理解や対応についてよかったことや改善されたこと

授業・テスト

授業時やテスト時における別室受験、文字の拡大、読み上げなどは改善していただくことができました。
(笠岡・中3・知的)

視覚支援が必要なことを親が気づき、先生と話合ったり、スクールカウンセラーに相談したり、校長に相談する事で怒られる事は少し減ったようです。
(倉敷・自閉情緒)

小学校では専門の支援の担任が転勤してこれ専門的な指導を受けた。
(県北・中1・知的)

学習面で少し特性などがみられ板書が苦手・漢字ひらがななどの形が記憶しづらいなど) 特定の科目だけ少人数制のクラスに入れてもらっています。
(岡山・小3・通常)

授業内容、宿題など、週間予定表の事前配布
(岡山・小6・通常)

運動会・行事

小学校時代、運動会のピストルを笛に変えてもらえた。
(岡山・通常)

なによりも本人のペースを大切にしてくださっているため、細くでも学校と切れることなくつながっていられるのだと思います。山の学校や運動会、発表会なども本人とその都度相談して下さって、本人が納得した形で参加させていただいています。
(岡山・小4・自閉情緒)

運動会のフリを覚えるために DVD 貸し出し。山の学校の母子体験会。本人の喜ぶキャラクターを使った教材。
(岡山・小6・知的)

宿題

宿題の緩和など、学校によっては対応が手厚い。
(井原)

本人のペースにあわせる

先を見通せるような声掛け。少し苦手そうなことでも、挑戦させようとしてくれる。
(岡山・小4・自閉情緒)

不登校については無理に学校に来ないでいいよという態度を取ってくれていて、部活に参加させてもらえてるのは有り難いです。
(岡山・中2・通常)

高校を変えてから子供目線で話をしてくれるので、子供も前より喋るようになったり自分を表現出来るようになった。
(岡山・高2・通常)

浮き沈みが激しいことを理解し寄り添ってもらえている。
(津山・中2・自閉情緒)

子供の気持ちをじっくり聞いてくれたり、気持ちを言いやすい待つ環境をつくってくれた。
(倉敷・小6・自閉情緒)

サポートカード使用しているのでチックについての理解をしてもらえ、本人に合わせて対応してもらえた。
(岡山・小3・自閉情緒)

逃げ場・空間

授業中に荒れてしまったときなどクールダウンできる場所がある。
(小5・自閉情緒)

周りの音や声が気になってしまうので、個室に仕切ったり、ヘッドホンを使う勉強は集中できるようです。
(岡山・小6・知的)

逃げ場になっている保健室で、子供の興味のある話を聞いている。
(倉敷・中2・自閉情緒)

友だち

なるべく、通常クラスの子と過すじかんをふや
す。
(井原・小2・知的)

他の生徒に特性や大まかな対応を説明する時間
を設けていただいた事もあった。説明後は他の生
徒も少し反応が改善された時もあったが、学年が
変わり担任も変わると、大人の態度で生徒の認識
が薄れると感じたので、協力学校の先生の対応次
第で、左右されると痛感した。

(井原・小4・知的)

先生が道徳や総合の授業でコミュニケーション
をはかる授業をとりいれてくれる。

(倉敷・自閉情緒)

多職種連携・教員間のサポート

サービス担当者会議を年に二回開くことで、通っ
ている事業所、学校、親の子の現在の課題が共有で
きた。また、顔を合わせることで学校での先生の困
りごとを先生から事業所に連絡をとり、助言もらう
ことができた。

(岡山・小6・自閉情緒)

子どもが困ったときは担任の先生や学年主任の
先生へその都度相談させてもらっていますが、子ど
もの特性だけでなく性格なども各教科の先生で情
報を共有してくれて、子どもの頑張りを認めてくだ
さっている気がします。

(赤磐・中2・自閉情緒)

定期的にソーシャルワーカーと面談させていた
だき、言いにくいことも間に立って情報共有して
いただけた。

(備前・中3・通常)

障害特性を理解してない外部教科担当教員の授
業を見学でき、その場で困り感を伝えることがで
きた。

(浅口・中1・自閉情緒)

教員からの連絡

若い先生でしたが、しっかり自閉症スペクトラ
ムについて勉強され、困ったことがありそう、気
になることがあったなどすぐに連絡を頂けた。逆
に年配の先生は怒るばかりで子供が不安がしまし
た。

(岡山・小6・自閉情緒)

進路や進級

小学校の頃、お願いしたら、年度替わりに、支
援級の生徒だけ春休み中に新しい担任との顔合わ
せや、教室や座席の配置を確認させてくれました。
その後は毎年して下さいました。

(備前・中1・自閉情緒)

支援級から高校進学した先輩の話を知れるよう
に取りはからってもらえた。

(赤磐・中2・自閉情緒)

給食・薬

大人数での食事は緊張するので、支援クラスで
給食を食べるようにしてもらった。

(津山・小4・知的)

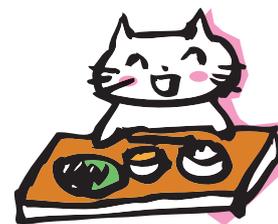
薬の飲み忘れの時のために、学校で預かってく
れて飲ませてくれる。

(岡山・中2・自閉情緒)

施設整備

県立高校で車椅子の学生が入学され、バリアフ
リーの設備を直ぐに整えてくれた。

(赤磐・高1・通常)



P8.別添1より

(※13)場面緘黙症：家などでは普通に話すことができるが、学校や職場のような特定の場面では声を出して話すことができない状態。
(※14)ICT：通信技術を活用したコミュニケーション。学校ではパソコンやタブレットを使って、オンライン授業をしたり、ネット検索で調べたりして学習を行うこと。(※15)ディスグラフィア：字を書くことが苦手な学習障がい。

その他のさまざまなご意見

安心して大人になれる社会を作ってあげたいです。このような子達はすごい能力があります。その力を社会の為に発揮できるような大人にしてあげたいです。

発達障害があってもIQがネックで手帳が取れない。神戸市の愛の手帳のようにIQ関係なしに発達障害の子でも手帳が取れるようになってほしい。また、IQが低くないので特別児童扶養手当が申請できないのでシングルで発達障害の子を育てることが大変難しい。療育に通わせるにも習い事をするにも配慮を求めるとお金がかかる。頼り先がなく追い詰められる。

県立の高校に行っていたが、高校からは発達障害を受け入れてくれる事はないなど実感。もっと高校でも発達障害を受け入れてくれるようになればいいのにと、とても思います。

子どもはまだ小学生のため、中学高校のことは未知なのですが、選択肢が増えることはとても嬉しく思います。

特別支援学校に、知的障害のない子も通えるようにして欲しい。そういった子に合った授業もして欲しい。

小学6年の息子がいますが、親の仕事が忙し過ぎてなかなか高校までの情報をとれないでいます。どんな学校があるのが、子供が目で見えてわかるような紹介映像などがあればわかりやすいと思いました。

県教委に働きかけて入試時の配慮事項の様式を作成してもらった。何かを変えてほしい時は保護者や会が中心になって声を上げなければ何も始まらない。県北の方には高校の選択が少ないと思う。

学校卒業後の社会(就職先)が受入れ態勢を整えなければ、いくら教育現場で配慮しても先が続かない。

質問項目の中に知らなかった事がたくさんあって、勉強になりました。

療育手帳を持たないきわめてグレーゾーンのスペクトラム児です。

発達検査で支援学校への進学は必要ないと診断されています。

インクルーシブ教育が盛んでない岡山では中学卒業後は通常の高校受験で通常の高校に入学し、3年間ついていけるのか非常に不安ですし、そもそも受験をパス出来るのか、悩みはつきません。

小学校講師、特別支援級担任として、担任している1人のお子さんを想定して、懇談や普段の話の様子から事実に近いであろうことを答えました。

子どもたち誰もが、自分を嫌いにならず、好きなこと得意なことを生かして、生き生きと学べる環境が整うことを切に願っています。

手帳はないが学習にも少し困難があるグレーゾーンの発達障がいの子への生徒への支援や進路は中途半端。キャリアプラン教育は、ライフプラン教育でもある。不安や気にかかる生徒、保護者には、定期的なケース会を設けること。地域の福祉課のワーカーとも何も無い時から繋げておいてほしい。

ようやく脳の可塑性について少しずつ語られるようになってきた現代社会において、将来的な姿が全くわからない小学校の就学前に、発達の遅れを理由に保護者に強く勧めることは、障害があると思われる本人にとっては人権侵害につながると判断される未来が来ると私は考えています。

東京や神奈川のようなチャレンジスクールや内申を使用しない受験方法が岡山にもあったらなと思っています。移住者なので高校は首都圏に戻ろうかと子どもに相談したのですが岡山から離れたくないとのことで、高校選びに困っています。



グレーゾーンで、診断がついてないけど、発達にでこぼこがある子供は、どっち付かずで、支援が少ないのです。今は、学校外の施設で放課後学習していますが、学校での配慮をお願いできるとありがたいです。みんなと同じじゃなくてもいいという考え方を学んでほしいです。

県立高校進学校にも、障害に関する専門知識を持った有資格者を常駐させて欲しい。

県立通信制に上の子が通っていますが、もう少し先生からのサポートやアプローチが欲しいです。

県北は特に交通の便が悪く、通級など特別支援教育を諦める人が多いです。

また真庭市の通級は、小学校のみで幼児と中学、高校にはありません。どの子にも均等に教育を受ける権利を与えるべく、県北の特別支援教育の充実や幼小中高と連携のとれた教育をぜひともお願いしたいです。

障害特性を持つ子どもに対して、やれるだろうか、出来ているから問題ないと思うのでは無く、予防的視点で関わってほしいです。

発達障害の子も素晴らしい力を持っている子が多く、その力を活かし、評価されるような仕組みを強く希望します。

特別支援級に入ると、調査書の成績の数字がゼロになると言うのを聞いたことがあり、教委に聞いてもハッキリしなかった為、中学受験を選びました。勉強ができる赤ちゃんのような高機能自閉症児も、学校で自分にあった学習と社会性の獲得ができる人間関係が築けたらいいのと思います。

本気でいい先生が倒れず、多数により子供たちを軍隊のように指導する方法から、主体性を重んじる教育や、特性をみた差別のない教育環境を期待します。また親とのコミュニケーションも図ってほしいです。

昭和と平成世代は発達障害の概念がなく苦勞している人が多いです。今の子達ならまだ間に合う。せめてクローズ就労でも生きられる技術や支援があればと思います。

また知的障害のない方に対する支援も薄い。その人達にも仕事して生きられる救済があればと思います。

何ヵ月も待たずに必要な時に受診でき、必要な検査や治療が受けられる最先端の知識を持つ医師のいる精神科の病院がほしいです。そこで、的確な診断と助言のもとに、進路を考えたいです。

また、個別の状況に合わせて的確な助言をしてくれる人材が、在籍校に常駐してくれるとありがたいです。現状では、SSW(スクールソーシャルワーカー)が割と頼りになりますが、他校掛け持ちで予定が詰まっていたり予約が取りにくいし、校長経由でしか連絡がとれない仕組みになっています。

発達しょう害ではなく、私は非定型発達だと思っています。このような特性の子は周囲に理解者がいないと持ちません。うちの子は、二つの療育の先生が家族以外の理解者です。しかし、矢掛町は療育を二つ受けることを原則禁止しました。禁止事項を増やすのではなく、ニーズに合った療育のような場を増やすような政策をお願いしたいです。

もっと多様な学びの場があるといいのと思う。自分を無理矢理入れる学校に当てはめるのではなく、自分らしく学べる場を選べるようになれば良い。選択肢が少なすぎて、どこにもはまらない子どもがたくさんいる。



お問い合わせ先



大塚 愛

事務所：岡山市北区野田 5-8-11

Tel：086-244-7721 Fax:086-244-7724

otsuka.ai4141@gmail.com

<http://midori-okayama.org/>

発行日：2022年9月

協力：石原理菜，豊福彩月，M.S，川原寿理